

# Kiho

広報きほう

Public Relations Kiho 2016 vol.123

4月号

大きな夢を抱き  
未来へ飛び立つ  
(相野谷中学校卒業式)



# 交流でにぎわい 活気あふれるまちづくり



3月定例会で所信表明する西田町長

策定にあたりましては、住民の参画を得ながら、中長期的な視点に立ち、「紀宝町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を勘案しつつ、町の目指すべき将来像を定めてまいりたいと考えておりますので、ご理解、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

## ◆地方創生

平成26年12月に、国において、人口問題に対する基本認識や目指すべき将来の方向などを示す「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」及び長期ビジョンを踏まえ政策の目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめた「まち・ひと・しごと創生総合戦略」がとりまとめられ、閣議決定されました。

これを受けまして、紀宝町におきましても、平成27年度において、国の長期ビジョンに基づき、人口動向、将来人口推計の分析を行い、中長期の将来展望を示した「地方人口ビジョン」及び、国や三重県の戦略を踏まえた、平成27年度から今後5か年で取り組む施策の基本的方向や重点的に取り組む施策、目標値等を示す「地方版総合戦略」の策定に取り掛かり、本年2月に、産、官、学、金、労、言、民の代表者で構成する「紀宝町まち・ひと・しごと創

## 町政の基本方針と 施策の大綱

### ◆第2次紀宝町総合計画

紀宝町のまちづくりを総合的かつ計画的に進めていくため、平成19年6月に「第1次紀宝町総合計画」を策定し、住民一人ひとりが地域に誇りと愛着を持ちながら、地域の特性を活かし、みんなが主役のまちづくりを進めてまいりました。

本計画は、平成28年度を目標年度として、町の将来像である「海・山・川の恵みに抱かれ、ともに輝き創造するまち」を実現していくため策定されており、平成28年度、最終年を迎えるにあたり、新たに今後における紀宝町政の基本的な指針となる「第2次」の総合計画の策定に向け、作業を進めてまいりたいと考えております。

生会議」の協議を経て、「紀宝町まち・ひと・しごと創生総合戦略」が完成したところでございます。

今後、国の動向も踏まえつつ、本戦略の基本目標であります「安心して子どもを産み育てられる紀宝」、「だれもが働きやすい紀宝」、「だれもが暮らしやすい紀宝」、「交流で賑わいあふれる紀宝」の4つの基本目標に向けた施策を展開し、「紀宝町まち・ひと・しごと創生会議」において、重要業績評価指標（KPI）等について、計画、実行、評価、改善のサイクルを繰り返し行っていたりしながら、これからの5年間、着実に戦略を推進することにより、人口減少に歯止めをかけられるよう、また、地域の活性化に繋がられるよう、取り組みを進めてまいりたいと考えております。

現在、国からの総合戦略に基づく事業を実施するための交付金として、「地方創生加速化交付金」及び「地方創生推進交付金」が示されており、対象事業や採択要件など厳しいものとなっておりますが、有効に交付金を活用しながら施策を展開してまいりたいと考えております。

次に、地方創生の機運が高まるなか、都市と地方が共生して、ゆとりと豊かさを実感し、安心して暮らすことのできる社会の実現を目指すべく時代を迎えております。

平成28年度におきましては、新規

事業といたしまして、移住・交流事業として、「地域おこし協力隊」を募り、自然環境に恵まれた本町で新たなライフスタイルを築き、創造していく人材を受け入れてまいりたいと考えております。

「インターンシップ受入れ」事業といたしまして、鈴鹿大学との連携により、道の駅「紀宝町ウミガメ公園」におけるインバウンド対応策や新たな資源の活用策など、学生の発想力や行動力を活かす取り組みを実施し、今後、増加が期待されます訪日外国人観光客に対応できる方策についても検討してまいります。

また、新しい形態の通信制高等学校であります、学校法人角川ドワンゴ学園「N高等学校」の課外授業の受け入れにつきましても、行ってまいりたいと考えております。

この課外授業につきましては、生徒にとつて、人間関係・コミュニケーション能力の向上をはじめ、自主性・自立性の向上、マナーやモラル、心の成長など、教育効果が期待できるものであります。

また、町といたしまして、生徒を受け入れることで、地元住民との交流やふれあいの場の提供を行うことで、活力の醸成や町のイメージ、アイデアなどを、若い生徒の視点に立ったご意見を拝聴できることや、ITを活用した施策として、生徒による情報発信力の活用や課外授業体

験の様子など、角川ドワンゴが持つ、ニコニコユーザーにも情報が発信されることにより、町の情報発信にも繋がるなど、双方にとつて効果が期待できる取り組みであると考えております。

その他、町出身者やふるさと納税をいただいたかたなどを対象に、町からの各種情報を提供し、産業や交流の拡大を目指していく「紀宝町応援団」の設立や、集落支援対策といたしまして、「なれ寿し加工場」の建設、休耕地等を利用した「花いっぱい事業」を実施するなど、新たな施策を展開し、交流で賑わいあふれる、活気あふれるまちづくりに向け、取り組みを進めてまいります。

## ◆石川県中能登町

石川県中能登町とは、平成24年11月に「災害時相互応援協定」、平成25年12月には「姉妹町提携」を結ばせていただき、平成28年度におきましても、引き続き交流を推進してまいりたいと考えております。

商工関係におきましては、紀宝町商工会及び紀宝ウミガメ物産振興協同組合が主体となって、中能登町の「道の駅 織姫の里なかのと」との物産交流の充実・拡大に向け、取り組みを進めていただきたいと考えてお

ります。

また、物産、観光、イベント等の交流及び地域間連携のさらなる強化を図り、本町と中能登町が、それぞれ相乗効果が発揮できるよう、努めてまいります。

また、教育関係におきましては、平成27年度に町内小・中学校教諭が中能登町小・中学校を訪問し、学力向上につながる視察研修を行うとともに、スポーツ交流事業におきましては、中能登町のソフトテニススポーツ少年団・中学生が紀宝町に來町し、紀宝町の小・中学生と鶴殿運動場・矢野中学校において交流試合を行い、技術の向上に努めるとともに、親睦を深めるなかで、お互いのさらなる向上を誓いました。

今後も学校やスポーツ等での交流を深め、相互の協力の絆を高めていき、ともに学力向上やスポーツ振興の発展に努めてまいります。

## ◆防災関係

防災関係につきましては、昨年、全国の自治体に先駆けて、台風等の風水害に備えた事前防災行動計画（タイムライン）を策定し、昨年の台風接近時には、早め早めの避難を呼びかけるなど、その運用を図って、住民の避難誘導や被害の軽減に努めております。

一方、浅里地区、大里地区では、住民による、地域版タイムラインの策定に取り組んでおり、本年の出水期までには策定を終えて、有効的な運用が図られるものと考えております。

さらに、町民防災会議が昨年設立されました。防災会議は、町全体で、「人の命が一番」を基本にした防災・減災対策に取り組み、町民各々が、「自分の命は自分で守る」という防災意識の醸成に努め、大災害からの被災者ゼロを目指しております。

防災会議では、防災に係る様々な組織・団体が、本部会議、町内を4地域に分けたブロック会議を組織し、町全体、また各地域にかかる災害リスクや防災課題等を知り、防災知識を学び、必要な活動を検討・実施してまいります。平成28年度は、活動計画に基づいた活動が実施され、さらに災害に強いまちづくりが構築されていくものと期待しております。

また、避難所の災害時の電源を確保するため、環境省の防災拠点等への再生可能エネルギー等導入推進事業を活用し、生涯学習センターまなびの郷に、太陽光発電設備等の設置工事を進めておりましたが、本年2月に、最大40キロワットが発電できる太陽光パネルと、45キロワットの蓄電池を整備する工事が完成いたしました。平成28年度はさらに、災害時における避難所への電源確保施設を

整備するため、三重県再生可能エネルギー等導入推進基金事業を活用し、鶴殿小学校、井田小学校、相野谷中学校への整備を行ってまいります。

成川地区におきましては、地権者の皆様のご理解をいただき、安全な高台にある土地の造成を行い、一時避難場所や飲料水兼用耐震貯水槽、防災備蓄倉庫を整備してまいりましたが、さらに安全・安心な土地の確保を図るため、国土交通省のご協力をいただき、熊野川激特事業による河道掘削で採取される砂利を搬入して、成川高台周辺地の埋め立てを実施してまいります。

消防・防災施設につきましては、浅里地区に建設しておりました、消防団川文班の消防車庫が本年2月に完成いたしました。車庫につきましては、木造平屋建て、延べ床面積は80.325平方メートルとなっております。有事の際の住民の一時避難場所としても利用できるよう整備しております。

一方、防災無線（防災行政無線同報系）につきましては、電波法が改正され、周波数帯の移行によるデジタル方式への転換が求められており、まず、設計等の整備を進めてまいります。

防災・減災対策につきましては、平成28年度におきましても、消防施設等の整備や、防災資機材の充実を図るとともに、災害時に必要とされる非常食や日用品などの備蓄を進めてまいります。

### 水道事業

水道事業につきましては、町民の皆様にご理解をお願いし、平成27年5月検針分から、水道料金を平均20%値上げさせていただいたところであります。経営の健全化に引き続き努めてまいります。現水道施設の老朽化に加え、将来発生が危惧されております「南海トラフ大地震」に備え、御船浄水場にある浄水施設の耐震化や管路の耐震化など、計画的に取り組まなければならない喫緊の課題が山積しております。

今回、「紀宝町水道基金」を新たに造成し、今後における水道施設の整備に役立てるとともに、より健全な経営に努め、安心安全で安定した水道水の供給に努めてまいりますので、ご理解、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

### 子育て支援施策

子育て支援施策につきましては、妊娠前から子育て期にわたるまでの多様なニーズに対応して、切れ目なく総合的相談支援を提供できるワンストップ拠点「子育て世代包括支援センター」の整備に向け、子育て支援センターを中心に、他の関係機関等とのネット



たは保護者がいないなど様々な事情により、自分の家庭で生活がで

また、地震が発生した場合に、家屋倒壊などから我が身を守るための、住宅の耐震診断や耐震補強工事、家具の固定事業などの助成制度を、平成27年度に引き続き実施させていただきます。町民の皆様には、「自分の命は自分で守る」という対策を講じていただくなどの啓発を行ってまいります。

さらに、地区自主防災組織の育成や避難訓練の実施、防災研修会や防災講演会などを引き続き実施し、今後とも、住民・地域・行政が一体となり、「人の命が一番」を基本理念に、災害に強い、安全・安心なまちづくりに努めてまいりますので、ご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。



太陽光発電が設置されたまなびの郷

### ごみ処理

ごみ処理体制につきましては、三重県のRDF焼却・発電施設が、平成28年度をもって事業終了の提案がされ、関係市町の継続要望により、

きない子どもたちを、家庭に迎え入れ養育にあたる里親制度についての説明会や周知・啓発を行い、里親登録に結びつく取り組みを進めてまいります。

児童保育事業、遊び場開放事業につきましては、子どもたちが安全・安心に利用できるよう、さらなる充実に努めてまいります。

### 高齢者福祉施策

高齢者福祉施策につきましては、地域包括支援センターをワンストップ相談窓口として位置づけ、町民の皆様幅広くご利用いただいているところですが、平成28年度においても、住み慣れた地域で安心して暮らすことができる、地域での支え合い体制の充実に努めてまいります。

具体的には、悪質商法などの被害から住民を守るために結成された「高齢者地域見守り隊」をはじめ、認知症のかたと家族の支援を行う生活介護支援サポーター「てまりの会」や、「認知症カフェサポーター」などのボランティアの育成を図るとともに、社会福祉協議会、民生委員、シルバー人材センターなどの連携強化と活動支援を行ってまいります。

さらに、災害時の備えや課題等を共有するため、町内介護保険事業所、警察、民生委員等、関係機関で

平成32年度までの4年間延長継続が確認されたところであります。

RDFを処理しております、関係市町につきましては、RDF焼却・発電施設終了後、平成33年度からのごみ処理体制の検討を進めているところであり、本町といたしましても、紀北町、尾鷲市、熊野市、御浜町、紀宝町の5市町で広域処理での協議を進め、広域ごみ処理施設の建設予定地につきましては、尾鷲市内とすることで検討を行っております。

今後におきましては、関係市町と連携を図りまして、将来に向けての処理体制の構築を進めてまいります。次に、ごみ減量化につきましては、資源の有効活用・循環型社会の構築に向け、資源とごみの分別収集を行っておりますが、燃料ごみの一層の減量化が課題となっております。

昨年7月からは、町民の皆様にご協力をお願いし、試験的に「草木の分別」に取り組んでおり、「草木」を分別収集することで、本年1月までの実績では、約126tが堆肥化等により再資源化が図られ、経費の節減にも繋がり、燃料ごみの減量化に大きな効果が示されたところであります。

この試験結果を踏まえ、平成28年度から分別項目に「草木」を加え、分別収集を継続して行い、ごみの減量化を進め、さらなる循環型社会の構築に努めてまいります。

組織された「災害支援地域ケア会議」において、介護高齢者等の命と生活を守る支援対策について検討をしてまいります。また、避難行動要支援者名簿の活用につきましては、地域自主防災組織や介護施設等の協力を得ながら、実効性のある支援ができるよう、個別計画策定に向けての協議検討をしてまいりたいと考えております。

### 介護予防事業

介護予防事業につきましては、歯科衛生士によるお口の健康・口腔ケアのプログラムや、作業療法士等による専門指導を実施し、個々の介護予防の機能強化を図り、健康寿命の延伸に努めてまいります。

ロコモ健診・ロコモ教育への参加につきましても、引き続き老人クラブ等にご協力をいただきながら取り組んでまいります。

また、認知症予防のための音楽体操「まちかどエクササイズ」OB会や、貯筋運動、健康運動教室などの自主活動グループを支援し、ご家庭や地域において、どなたでも気軽に介護予防に取り組めるよう努めてまいります。

介護予防・日常生活支援総合事業につきましては、本年10月から新制度にスムーズに移行できるよう、現

行相当サービスと基準緩和型サービスAの2つをスタートさせながら、NPOやシルバー人材センター、ボランティア等による生活支援サービスなどが提供できるよう取り組んでまいります。

### 生活困窮者支援

生活困窮者支援につきましては、相談内容に応じて、三重県生活相談支援センターや各支援機関と連携しながら、生活困窮状態から脱却できるよう取り組んでまいります。また、障がい者の社会参加を促進するため、就労継続支援B型事業「福祉の店アプローチ」への継続に向けた支援を実施してまいります。

消費税率引き上げによる影響緩和をするための簡素な給付措置「臨時福祉給付金」を、平成27年度に引き続き実施してまいります。

支給対象者につきましては、概算ですが対象者が3,400名、支給総額1,020万円を見込んでおります。

また、一億総活躍社会の実現に向け、賃金引き上げの恩恵が及びにくい方々を対象とした「低所得の高齢者向けの給付金」、及び「低所得の障害・遺族基礎年金受給者向けの給付金」の実施についてですが、支給対象者につきましては、概算ですが「低所得の高齢者向けの給付金」が

2,000名、「低所得の障害・遺族基礎年金受給者向けの給付金」が100名、合わせて2,100名となり、支給総額は6,300万円を見込んでおります。給付金支給対象者の皆様には、申請時期等の周知を図りながら、申請後は速やかに給付できますよう努めてまいりたいと考えております。

### 健康づくり関連

健康づくり関連につきましては、多くの住民の願いであります、「心身ともに健康的な日常生活を送る期間を延伸させる」健康寿命の延伸のため、一人ひとりの健康づくりの自立に支援してまいります。

そのために、「生活習慣病対策の推進」「メンタルヘルス対策の推進」「ライフステージに応じた健康づくりの推進」、「健康づくり」に携わるさまざまな機関との連携」に取り組んでまいります。

早期発見・早期治療につながるため、特定健診・がん検診・健康づくり健診の受診勧奨

害が増加するなか、本町におきましても、国や県による補助事業を活用し、侵入防止柵の設置や猟友会の会員の皆様のご協力のもと、有害鳥獣捕獲に対する事業を進めてまいりたい。



健康チェックデー



ブレママ・ブレパパ教室

に努め、受診しやすい環境整備に取り組めます。このころの健康づくりといたしましては、引き続き正しい知識の普及、相談が受けられる体制づくりを行ってまいります。

特に、うつ病等は、生活習慣病の子後の悪化からつながることが多いため、生活習慣病予防と連動して行ってまいります。

全身の健康につながる歯と口腔の健康づくりは、「紀宝町歯科保健プロジェクト会議」において検討推進し、横断的に健康づくりに取り組み、いつまでも自分の歯でおいしく食事ができ、生涯にわたる生活の質の向上を図ってまいります。

母子保健事業につきましては、従来から行っております、妊婦健康診査の助成、不妊治療の助成、産後ケア事業、乳幼児健診、発達支援が必要な子どもへの対応等、安心して子

また、新たに県産材を活用した食品加工施設を浅里地区に整備し、郷土料理の保存・伝承を図ってまいりたいと考えております。

さらに、建物解体助成事業を実施し、町内の空き家の解体撤去に係る費用を助成することで、町内の住環境の向上及び住民の安全、安心の確保並びに災害の未然防止を図ってまいります。

また、木造住宅建設促進対策事業を継続実施してまいります。町内において、熊野材を使用して木造住宅を建築しようとするかたに対して助成を行うことで、町内の木材の需要拡大及び建築関連産業の活性化を図り、低迷する林業の再生につなげてまいりたいと考えております。

次に、県営中山間地域総合整備事業につきましては、平成28年度に第1期の「県営中山間地域総合整備事業紀宝中部地区」が完了する見込みとなっており、平成29年度からは、「県営中山間地域総合整備事業紀宝中部2期地区」に着手する予定となっております。

そのため、老朽化した頭首工等の農業用施設や、集落道路等の整備・改修をする実施計画を、平成28年度に策定してまいりたいと考えております。

次に、林道事業につきましては、平成15年に県営林道開設事業により整備した林道北松枝浅里線（約12km）

供を産み育てることが出来るよう、ライフステージごとに切れ目のない母子保健サービスを推進してまいります。

### 相野谷診療所

相野谷診療所につきましては、事業所検診や生活習慣病予防検診、がん検診などの各種検診業務について、引き続き行政・関係機関と連携を図り、事業を行ってまいります。

また、地域医療につきましましては、地域ニーズを把握し包括的に地域の実情に合わせて、事業の推進を図ってまいりたいと考えておりますので、ご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

### 農業関係

農業関係につきましては、昨年は、農業協同組合や農業委員会関連の法律改正により、農業協同組合の組織形態の再編及び農業委員会制度の改正が行われ、戦後以来の大きな改革となりました。

また、T P P（環太平洋パートナーシップ）につきましては、昨年10月5日に大筋合意となるなど、これからの日本の農業を大きく左右する年となりました。本町といたしましても、大き

でございますが、林業施業の効率化及び災害時の迂回路として活用できるよう、平成18年度から未舗装区間9・6kmの整備を進めており、平成29年度の完成に向け、舗装工事を進めてまいります。

### 水産振興

水産振興につきましては、本町ではこれまで、漁業者の所得の向上・経営の安定を目的とし、藻場造成・つきいそ等の漁場の整備を行ってまいりました。

しかしながら、平成23年9月に発生いたしました紀伊半島大水害により、漁場が荒れ、漁獲量も減少しております。

これらの状況を改善するため、平成25年度に紀南漁業協同組合、紀宝町において三重県紀宝町産地協議会を発足させ、地先資源増大のための調査・分析・評価を行うソフト事業、漁場の環境整備などのハード事業を行うための水産業強化計画を策定し、平成26年度には、井田茶屋地区沿岸に、つきいその造成や、整備したつきいその資源調査として、潜水調査及び漁獲量調査を実施しております、平成28年度も引き続き予定しております。

また、今後の施設更新を見据え、国からの支援が受けられるよう、「浜

本町といたしましても、既存事業の活用とともに、T P P関連対策事業の活用を視野に、農業の振興を図ってまいりたいと考えております。

さらに、第1次産業生産者育成事業を実施し、新規販路開拓のための講座の開催、流通業者、消費者等に対するP R媒体の新規作成に対する補助、また柑橘類の高品質化を進めるための、マルチ栽培に係る資材購入の補助を行ってまいります。

### 獣害対策

獣害対策につきましては、近年、野生動物による農作物に対する被

### 林業振興

林業振興につきましては、三重県では、「災害に強い森林づくり」及び「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるため、その費用を県民の皆さまに幅広く負担していただく「みえ森と緑の県民税」を導入し、平成26年4月からスタートいたしました。

平成28年度におきましても、神内小学校屋外トイレの整備、及び紀宝町の自然の魅力を再発見する場として、講演会、体験講座などを開催する予定としております。

の活力再生プラン」の作成を検討してまいりたいと考えております。

### ◆道路事業

本町における高規格幹線道路は、平成25年度に「一般国道42号新宮紀宝道路」が事業化され、平成27年6月7日に新宮紀宝道路事業着手式が開催されました。

「一般国道42号新宮紀宝道路」の早期工事着手に向け、各関係機関へ地域の想いを届けてまいりたいと考えております。

また、三重・和歌山両県の関係7市町村で構成する、「近畿自動車道紀勢線（熊野市～新宮市間）建設促進期成同盟会」におきましても、国の予算編成時期に合わせ、年2回の要望活動を三重・和歌山両県及び国土交通省、財務省、地元選出国會議員に対し、近畿自動車道紀勢線（新宮・熊野間）の未事業化区間を早期に新規事業化すること、「一般国道42号新宮紀宝道路」、「一般国道42号熊野道路」を早期に工事着手すること、道路関係予算を増額することなどを強く要望してまいります。

次に、建設工事につきましては、「道整備交付金事業」を活用し、町道相野口永田線改良工事を始めとする28路線の改良工事を実施してまいります。

また、幼稚園の保育料につきましては、低所得の多子世帯、及びひとり親世帯の保護者負担軽減の範囲を拡充することで、就園に伴う保護者の経済的負担を軽減させ、幼稚園教育の普及と、さらなる充実に努めてまいります。

平成26年度に、深田運動場の完成を祝し町民運動会を開催し、多数の町民の皆様のご参加のもとで交流を深めました。平成28年度につきましても、深田運動場を会場として町体育協会との連携のもと、町民運動会を開催し、町内の子どもから高齢者まで幅広い年代の方々に多数ご参加いただくなかで、町民の相互交流を深め、運動を通して心身の健全な発達や健康増進、地域スポーツの普及・振興が図られるよう運動会を実施してまいります。

生涯学習センター事業につきましては、まなびの郷を拠点として、新たに舞台技術や音響・照明等を含めたボランティア会員を募集し、町民参加型による施設運営を実施する体制を構築してまいります。

また、コンサート等のイベントの開催につきましては、新たな組織と連携して実施できるよう、創意工夫するなかで取り組みを進めてまいります。

また、「社会資本整備総合交付金事業」につきましては、鶴殿地区の新橋梁整備工事を始め、2橋の修繕耐震補強工事、橋梁点検及び、鶴殿小学校前踏切の拡幅に伴う詳細設計に着手してまいります。

今後も引き続き、安心・安全な住まいまいちづくりを基本目標に、道路施設の予防修繕と計画的な道づくりを進めてまいりたいと考えております。

### ◆教育関連

教育関係につきましては、昨年4月、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正に伴う、教育委員会制度改革がスタートいたしました。本町では、新教育長の任命や総合教育会議設置などの対応をいち早く行い、教育委員会の組織強化、迅速な危機管理体制の構築、教育委員会との連携強化を図っており、引き続き、本町の教育に係る課題等について取り組んでまいります。

学力向上の取り組みにつきましては、町内小・中学校、県教育委員会、町教育委員会で組織する「紀宝町学力向上推進協議会」を核とし、授業改善や学力向上に向けた取り組みを進めるなかで、平成27年度は、各小中学校保護者代表の方々にも参加をいただく機会を設定し、子どもたち

の生活習慣や家庭学習の取り組みなどについて、意見交換を行ってまいりました。

平成28年度におきましても、家庭との連携を密にし、学校・家庭・行政、それぞれの役割を明確にしながら、各種の取り組みの充実に努めてまいります。

平成27年度からの取り組みに加えまして新たに、町内の小学生を対象として、放課後に自主学習の時間を設定することにより、放課後の子どもたちの安全・安心の居場所づくりにもつながる「放課後サポートスクール」を実施し、教員免許を所持する講師が、児童一人ひとりに応じた、個別の支援を行ってまいりました。

この「放課後サポートスクール」に加えまして、長期休業中におきましても、サマースクール、ウインタースクールをまなびの郷において開催し、多くの児童が参加しております。平成28年度におきましても、放課後サポートスクール、サマースクール、ウインタースクールの内容改善と充実を進めるなかで、学習意欲の喚起と学力の向上を図ってまいります。

また、高等学校あるいは高等専門学校に在籍するかたで、能力があるにもかかわらず、経済的理由によって就学が困難なかたを支援するため、「紀宝町奨学金支給制度」を創設したところでございますが、平成28年度におきましても、制度を継続し支援



町民運動会



サマースクール

町文化財関係につきましては、平成27年度に紀宝町大里に位置する京城跡（みやこのじょうあと）を題材に、三重県教育委員会から講師を招聘し、大里地区住民の皆様、町文化財調査委員とともに歴史的な価値について学習会を開催いたしました。

この京城跡は、大変貴重な文化財であることから、今後継続的に、大里地区住民の皆様との話し合いや勉強会を重ね、文化財指定範囲に該当する地権者のかたとの調整を行ったうえで、紀宝町文化財また三重県文化財の指定に向けた取り組みを進めてまいります。

図書館事業につきましては、新しいサービスとして「課題解決型図書館サービス」推進事業を開始し、新規就農や起業関係など、ビジネスに役立つ本を集めた「ビジネス情報コーナー」の設置や、無料で使えるオンラインインテータベースの導入、その活用講座の開催などを行ってまいりました。

また、公益財団法人三重県産業支援センターのご協力により、「ビジネ

を実施してまいります。

新規事業といたしましては、学校と保護者や地域住民が、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進めていくために、「学校運営協議会制度」を創設し、コミュニティ・スクールの導入に向けた取り組みを進めてまいります。

また、教育委員会事務局に学校経営アドバイザーを1名配置し、町内小中学校に対する学校運営や授業改善についての指導及び助言を行うことにより、学校経営の充実と、併せて町教育行政のさらなる充実に努めてまいります。

各小中学校の将来に向けた検討につきましても、全国的な少子化傾向や、県内各市町で学校再編の動きが加速化しているなか、児童、生徒にとって望ましい教育環境のあり方はいかにあるべきかという視点にたち、学校教育の直接の受益者である児童生徒の保護者等との意見交換会などを行いながら、学校関係者等との教育上の課題などを共有し、長期的な展望に立った町内小中学校のあり方について議論を進めてまいります。

うどの幼稚園につきましては、幼稚園児保護者の就労形態の多様化により、延長保育が必要な園児に対し、平成28年度から「預かり保育」を実施いたします。家庭と緊密な連携を図りながら、家庭的な雰囲気

が続いているとされています。

昨年11月には、「希望を生み出す強い経済」、「夢をつむぐ子育て支援」、「安心につながる社会保障」の実現に向け、一億総活躍社会の実現に向けた緊急対策を取りまとめました。

平成28年度の日本経済は、緊急対策など、既定の諸施策の推進等により、雇用・所得環境が引き続き改善し、経済の好循環がさらに進展するとともに、交易条件が緩やかに改善するなかで、堅調な民需に支えられた景気回復が見込まれると分析し、平成28年度の予算編成を行いました。

本町におきましては、国の動向に注意を払い、情報の収集を行いながら、予算の編成に取り組んでまいりました。

平成28年度当初予算につきましては、は、町村合併後10年が経過し、合併市町村への財政特例が漸減してまいりますため、重要度や緊急度が特に高いもの、地域からのご要望に 대응する必要があるものなどを選択するなど、可能な限り支出の削減に努め、町債につきましては、地方交付税措置の厚い地方債を優先的に充当して、将来への負担軽減を図るなど、今後の町財政への影響を見据えた編成を行ったところでございます。

※予算については、次回発行の広報きほう5月号で紹介させていただきます。

### ◆予算編成

スのお悩み解決！出張相談会」を開催するなど、これまで図書館になじみの薄かった方々にも、施設を利用していただくためのきっかけづくりにも努めてまいりました。

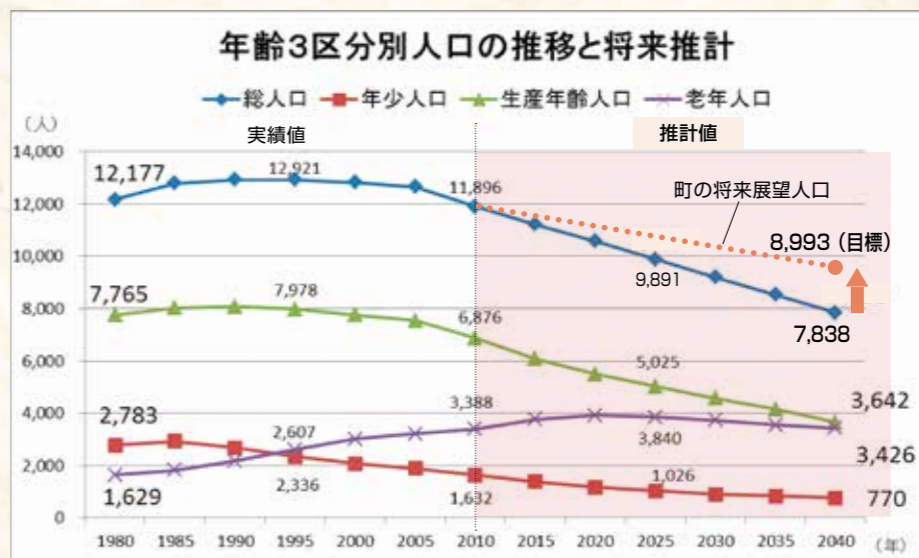
今後も各関係機関と連携しながら、図書館として地域の課題解決や活性化の支援に取り組み、地域の方々の心豊かな暮らしのお手伝いができるよう努めてまいります。

政府は、現在の我が国の経済情勢を、「大胆な金融政策」、「機動的な財政政策」、「民間投資を喚起する成長戦略」を柱とする経済財政政策の推進により、雇用・所得環境が改善し、原油価格の低下等により交易条件が改善するなかで、緩やかな回復基調

人口減少に歯止めをかけ、活力あるまちを維持する

# まち・ひと・しごと創生総合戦略

紀宝町の人口は、平成7年をピークに、減少し続けています。町では、目指すべき人口規模と目指すべき将来の方向性を示した、「紀宝町人口ビジョン」および「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。



【出典】総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

## 紀宝町人口ビジョン

わが国では、少子高齢化が進むとともに、東京圏をはじめとする大都市部への人口流出により、地方の人口減少は深刻な問題となつていきます。紀宝町でも、人口減少が続いており、今後ますます少子高齢化が進んでいくことが想定されています。

町では、「地方創生」に取り組んでいくにあたり、その課題を整理し、人口の現状分析と将来の見込みを推計しました。

上記「年齢3区分別人口の推移と将来推計」を見てみると、国勢調査の人口で、1995年（平成7年）に1万2,921人であった町の総人口が、2010年（平成22年）には1万1,896人に減少しています。

また、国立社会保障・人口問題研究所の人口推計によれば、2040年の総人口は7,838人と推計されており、2010年時点の人口からさらに3割以上減少すると予想されています。

人口が減少する理由には、出生数と死亡数の増減からなる「自然増減」と、転入数と転



産業界、教育機関、行政、金融機関、労働団体、言論、住民団体など20名で構成された「紀宝町まち・ひと・しごと創生会議」を3回開催し、ビジョンや戦略の議論が行われた。

## 紀宝町まち・ひと・しごと創生総合戦略

国は、地方が抱える課題を克服し、東京一極集中型社会や人口減少などの問題を解決するため、平成26年に「まち・ひと・しごと創生法」を施行。地方の活性化を促す「地方創生」を掲げました。こうした国の動きに合わせて、町でも昨年2月に推進本部を設置して議論を重ね、本年2月に「人口ビジョン」と「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

策定にあたっては、在住者、高校生世代、転出者などを対象としたアンケート調査を実施したほか、町内の中学生全員に、まちへの思いを伺いました。それらの意向結果を踏まえて、4つの基本目標・具体的施策・数値目標等を検討し、町民の代表や外部有識者など20名で構成する「紀宝町まち・ひと・しごと創生会議」や「町議会の地方創生まちづくり特別委員会」の意見を伺いながら、戦略づくりを進めてきました。

この戦略や目標を達成するためには、行政だけでなく、企業などの地域の力、そして町民一人ひとりの力が必要です。みんなで協働して、活力あるまちを維持していきましょう。

主な施策など詳しくは、今月号の広報きほに折り込んでいる「紀宝町まち・ひと・しごと創生総合戦略『概要版』」、さらに詳しくは、町ホームページに総合戦略の全編を掲載していますので、ご覧ください。

▼詳しくは、役場企画調整課（☎33-03334）まで、お問い合わせください。

## 「紀宝町まち・ひと・しごと創生総合戦略」4つの基本目標と主な施策の方向

### 基本目標①子育て

安心して子どもを産み、育てられる「紀宝」

#### 主な施策の方向

- 安心して子どもを産むことができる環境の充実
- 安心して子どもを育てることができる環境の充実
- 学校教育・社会教育の強化と充実
- 地域コミュニティの充実

### 基本目標③暮らし

だれもが暮らしやすい「紀宝」

#### 主な施策の方向

- 生活基盤の整備
- 防災、安全対策の推進
- 健康づくりの推進
- 高齢者、障がい者福祉の充実

### 基本目標②しごと

だれもが働きやすい「紀宝」

#### 主な施策の方向

- 働く場の創出
- 商工業の振興
- 農林水産業の振興



### 基本目標④交流・賑わい

交流で賑わいあふれる「紀宝」

#### 主な施策の方向

- 移住・定住対策の促進
- 交流機会の創出
- 観光の振興
- 交通ネットワークの整備

暮らし

子育て

交流・賑わい

しごと

障がい者を理由とする差別をなくすために

## 障がい者差別解消法が4月から施行



障がいのある人への差別をなくすための基本的な事項や対応方法などについて定めた、障がい者差別解消法が平成28年4月から始まります。

この法律は、障がいのある人もない人も分け隔たられることなく、お互いに人格と個性を尊重しあいながら共に生きる社会の実現を目指しています。

障がい者差別解消法では、「不当な差別的取扱い」と「合理的配慮をしないこと」が禁止されます。

### ◆不当な差別的取扱い

障がいを理由として、正当な理由なく、サービスの提供を拒否したり、制限したり、条件を付けたりするようなことです。例えば、「障がいがある」という理由だけで、スポーツクラブに入れない、アパートを貸してもらえない、車いすだからといってお店に入れないなどがあげられます。

不当な差別的取扱いをすることは、行政機関や会社、お店なども禁止されます。

### ◆合理的配慮をしないこと

障がいのある人が困っているときに、負担になり過ぎない範囲で解決するために工夫することを、合理的配慮といいます。

障がいのある人に対して、その人に合ったやり方、工夫による対応を行わないことは、差別にあたります。

聴覚障がいのある人に声だけで話す、視覚障がいのある人に書類を渡すだけで読みあげない、知的障がいのある人にわかりやすく説明しないことが、合理的配慮をしないことの例になります。

合理的配慮の提供は、行政機関は必ず行う必要がありますが、会社・お店などは、障がいのある人が困らないようにできるだけ努力することとされています。

▶詳しくは、役場福祉課相談窓口（☎33-0339）までお問い合わせください。

学びたい気持ちを応援します

## 紀宝町奨学生を募集します



町では、能力があるにもかかわらず、経済的な理由によって高等学校の修学が困難な方に対し、平成28年度紀宝町奨学金を支給します。

返還が不要な給付型の奨学金ですので、応募資格に該当する方は、ぜひ申請してください。

### ◆応募資格

本人または、生計を同一にする家族が紀宝町に住所を有し、高等学校に在籍されている方  
※高等専門学校に在籍する方は、3年生までを支給対象とします。

### ◆奨学金の支給額

年額60,000円以内  
※給付型のため、返還の必要はありません。

### ◆募集期間

4月1日（金）～28日（木）午後5時必着

### ◆募集人員

1年生3名以内、2年生2名以内、3年生1名以内

### ◆申請の手続き

町教育委員会および町内中学校に備え付けている奨学金支給申請書に必要事項をご記入のうえ、その他必要書類と合わせて提出してください。

### ◆結果の通知

町教育委員会において選考を行い、結果を本人に通知します。

▶申し込みなど詳しくは、町教育委員会教育課（☎33-0341）までお問い合わせください。

愛犬のためにあなたのできること

## 狂犬病予防注射と畜犬登録のお知らせ

犬を飼っている方は、その犬の登録と毎年1回の狂犬病予防注射を行うことが義務づけられています（狂犬病予防法）。

平成28年度の狂犬病予防注射、および畜犬登録を右記のとおり実施しますので、この機会をご利用ください。また、犬の死亡、飼い主の住所・氏名が変わったなど登録事項が変更になったときは、届け出をお願いします。

◆対象 生後91日以上の飼い犬

◆料金（1頭あたり）

【登録済の犬】 **3,200円**  
（注射料2,650円＋注射済票550円）

【未登録の犬】 **6,200円**  
（注射料等3,200円＋登録料3,000円）

※なるべくおつりのいらぬよう、ご用意ください。

▶詳しくは、役場環境衛生課（☎33-0338）までお問い合わせください。

### ◆狂犬病予防注射実施日時

日程	時間	場所
4月11日（月）	8:50～9:05	桐原生活改善センター
	9:15～9:25	阪松原生活改善センター
	9:35～9:45	平尾井生産活動センター
	9:55～10:10	大里多目的集会施設
	10:20～10:30	旧JA高岡出張所前県道
	10:45～11:00	鮎田構造改善センター
	11:10～11:15	北松杖多目的集会施設
	11:30～11:35	旧JA浅里出張所前
	13:10～13:35	役場分庁舎駐車場（成川）
	13:45～14:20	飯盛多目的集会施設
4月12日（火）	14:30～15:00	神内構造改善センター前
	9:10～9:30	下り場駐車場
	9:40～10:20	井田公民館
	10:30～11:05	上野つどい館
	11:15～11:35	鶴殿長谷集会所
	13:15～13:50	鶴殿駅前自転車置場前
14:00～14:25	役場本庁舎裏	

マナーを守ってキレイなまちに

## ペットの『ふんの管理』は飼い主の責任です

最近、ペットの『ふん』についての苦情が多数寄せられています。もし、家の周りや道路、田畑などに『ふん』が散乱していたらどんなに迷惑でしょう。犬を散歩させるときは、下記のような『ふん』を処理するための道具を持って出かけましょう。『ふん』をした場合は、きちんと持ち帰って処理してください。また、猫については室内飼養や自宅のトイレに用を足すようしっかりとつけるなど、近所の方に迷惑をかけないよう飼いましょう。清潔で住みよい環境を守るために、ご理解とご協力をお願いします。



### ◆『ふん』を処理するための道具（一例）



#### ポリ袋

回収した『ふん』を入れて持ち帰るため



#### スコップ

『ふん』をすくって袋の中に入れるため



#### ティッシュ類

『ふん』をくるんだり、地面を拭いたりするため

「資源」と「ごみ」正しく分別して出しましょう

## ごみ収集カレンダーをご活用ください

町では、ごみ収集日程を掲載した「ごみ収集カレンダー」を今年度も発行しました。

今月号の広報きほうといっしょに各世帯に配布しますので、ご活用ください。

### 今年度の重点注意事項

#### ◆猫砂は「資源にならないごみの日」に！

これまで、猫砂は「燃料ごみ」の日に出すことができましたが、今年度からは「資源にならないごみの日」に変更となりました。

#### ◆草木類の出し方と収集について

草木類の再資源化を実施していますので、「燃料ごみ」とは別のごみ袋で「燃料ごみ」の日に出してください。

※草木類は、「火曜日」と「金曜日」に収集します。  
**「鶺鴒地区」** → ごみボックスの横に、「草木類」と表示したかごを4月から設置しますので、その中に入れてください。

**「井田・成川・神内・鮎田・高岡・川文・相野谷地区」**  
 → ごみボックスの横に置いてください。

なお、「保存版・資源とごみの正しい分け方」を、ごみ収集カレンダーに折り込んでいます。

ごみの分類がイラストで分かりやすく載っていますので、ぜひご活用ください。



平成28年度版ごみ収集カレンダー



ごみ収集カレンダー



分別方法表

▶詳しくは、役場環境衛生課（☎33-0338）までお問い合わせください。

年間所得300万円未満の新婚世帯が対象です

## 新生活に向けた住居費や引っ越し費用を補助

町では、地域における少子化対策の強化を目的として、年間所得が300万円未満の結婚した世帯に対して、住居費および引っ越し費用を補助します。対象となる新婚世帯は、以下のとおりです。

【対象】 以下の条件を全て満たした世帯

- ①平成28年4月1日から平成29年3月31日までに結婚した夫婦
- ②対象となる住居が町内にあること
- ③世帯の年間所得が300万円未満

【補助金の額】

新生活を始めるにあたり、必要となる住居費と引っ越し費用を合わせた額。

1世帯当たり18万円が上限です。

◎住居費

結婚を機に住居を購入、または、住居を借りるための費用で、住居の購入費、賃料、敷金、礼金など

◎引っ越し費用

引っ越し業者への支払いなど

【申込期限】 平成29年3月31日まで

▶提出書類など詳しくは、役場企画調整課（☎33-0334）までお問い合わせください。

任意・定期予防接種費の助成

## ワクチンの予防接種費を助成します！

町では、ワクチンの任意予防接種と、定期予防接種の費用の一部助成を、今年度も下記のとおり実施します。

▶詳しくは、保健センター（☎32-3700）までお問い合わせください。



### ◆任意予防接種（ロタウイルス・おたふくかぜワクチンなど）

ワクチンの任意予防接種は、紀宝町に住民登録があり、平成28年4月1日から平成29年3月31日までに接種した方が助成対象となります。対象者や助成金額は下記の表のとおりです。

申請期限は平成29年3月31日までです。  
 ※対象者への個別の通知はありませんので、ご注意ください。

接種種類	対象者（接種時の年齢など）	助成金額	申請時必要書類
ロタウイルス	2回接種・生後6週～24週まで 3回接種・生後6週～32週まで	※1回7,000円を上限とし2回助成 ※1回4,700円を上限とし3回助成	母子健康手帳領収書
おたふくかぜ	1歳～4歳未満	支払額の1/2の額（上限3,000円） 1人1回限り	母子健康手帳領収書
成人用肺炎球菌	65歳以上で、定期接種の対象とならない者（これまでに助成を受けた事がない者）	支払額の1/2の額（上限4,000円） 1人1回限り	健康手帳または接種済証領収書
風しん（三日はしか）	①妊娠を希望する女性 ②妊婦の夫および、妊婦と同居する家族 ※風しん感染しない高い抗体価を有する者は、対象外です。	一律5,000円	①の方は接種済証 ②の方は妊婦の母子健康手帳領収書

### ◆定期予防接種（成人用肺炎球菌ワクチン）

【対象者】 下記の方を対象に1回接種

- ①平成27年度から平成30年度までは該当する年度に「65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳となる方」
- ②60歳から65歳未満の方で、心臓、腎臓、呼吸器、の機能に自己の身の日常生活が極度に制限される程度の障がいやヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障がいがある方。

※制度の対象となるのは、1人1回限り。過去に接種を受けたことがある方は対象外となります。

※対象者には、個別に通知します。

平成28年度の定期接種の対象者

対象者	生年月日
65歳	昭和26年4月2日～昭和27年4月1日
70歳	昭和21年4月2日～昭和22年4月1日
75歳	昭和16年4月2日～昭和17年4月1日
80歳	昭和11年4月2日～昭和12年4月1日
85歳	昭和6年4月2日～昭和7年4月1日
90歳	大正15年4月2日～昭和2年4月1日
95歳	大正10年4月2日～大正11年4月1日
100歳	大正5年4月2日～大正6年4月1日

【接種費用】 2,500円

【持ち物】 健康保険証、健康手帳

### 日本脳炎予防接種

平成19年4月1日以前に生まれた20歳未満の方（特例対象者）へ

日本脳炎予防接種は、予防接種後に重い病気になった事例があったことから、平成17年度から平成21年度まで、案内を控えていましたが、新たなワクチンが開発され、通常通り受けられるようになってきました。母子健康手帳で履歴を確認のうえ、合計4回の接種が終わっていない20歳未満の方は、保健センターまでお問い合わせください。



今月のテーマ

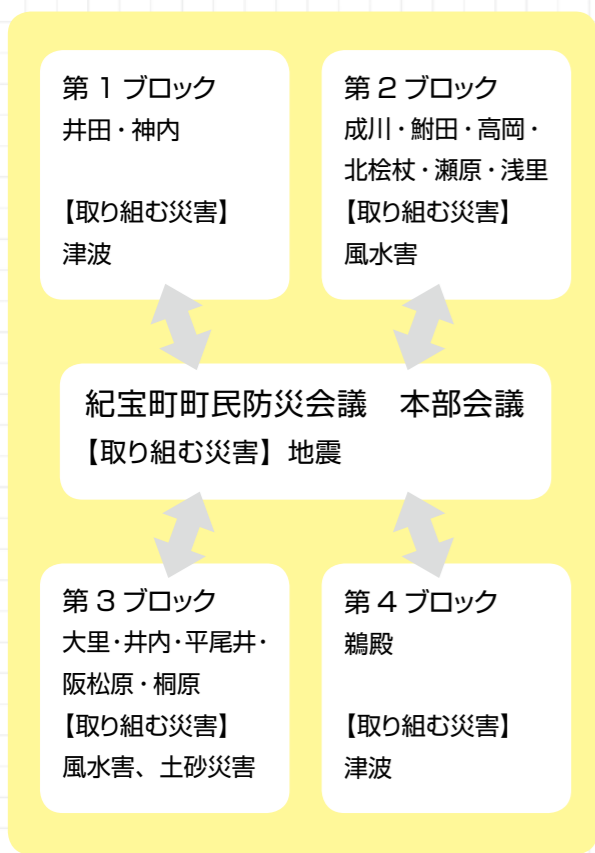
# 町民防災会議の活動報告

今回は、昨年12月に設立した町民防災会議の活動状況および町民防災会議活動計画について報告します。

▶この記事に関するご質問やお問い合わせは、役場総務課防災対策係（☎33-0335）まで。



紀宝町総務課防災対策係 中村直哉



町民防災会議の組織図および取り組む災害

**近**い将来、発生が危惧されている南海トラフ巨大地震や台風による風水害、土砂災害などの災害に備えるためには、町民のみならず「自分の命は、自分で守る」という「自助」意識と家族や地域の人達と助け合いを行う「共助」精神を持ち、日ごろから防災について考え、町民一人ひとりが防災対策に取り組むことが重要となります。

そこで、自主防災組織をはじめ、町内の防災に関わるさまざまな団体、組織が集まり、防災について学び、そして地域の防災課題について取り組み、活動を通じて町民の防災意識の向上を図っていくことを目的として、昨年12月に町民防災会議を設立しました。

**町民防災会議**は、地域ごとに4つのブロック会議に分かれており、それらを統括する形で町民防災会議本部会議を設置しています。

また、それぞれのブロック会議では自主防災組織、自治会、消防団、民生委員、児童委員、幼稚園、小中学校、保育所など町内の防災に関わるさまざまな団体、組織が集まり、各地域の実情に応じた防災対策について検討し、取り組んでいきます。

平成27年度の活動として、本部会議および各ブロック会議で取り組む災害の検討や町民防災会議活動計画の策定を行いました。

**町民防災会議活動計画**

**【目的】**  
町民一人ひとりが「自分の命は自分で守る」という防災意識の醸成に努めることを目的としています。

**【活動の対象となる災害の種類】**  
活動の対象となる災害は、①風水害、②土砂災害、③地震津波、④竜巻、⑤大規模火災を扱うものとなります。

**【活動基本方針】**  
町民防災会議は、紀宝町の災害リスクや課題を知り、防災知識を学び必要な活動を検討・実施し、その成果を振り返り、次の活動へ活かしていくことで、町民、地域組織などの防災力の向上を図り、目的を達成していきます。

**【活動計画】**  
基本方針にもとづき、紀宝町全体および各ブロック会議ごとに、取り組む災害、現在の課題、取り組んでいく内容を挙げていきます。

各ブロック会議ごとの、課題や取り組んでいく内容については、次回以降の広報きほうでお知らせします。

また、今後町民防災会議が主催する講演会、防災訓練などには、ぜひご参加ください。

もしもの時に備えて

# 土砂災害情報等メール配信サービスをご利用ください

町では、三重県の協力を得て、土石流、地すべり、がけ崩れなどによる土砂災害から人命を守るために、平常時から災害時を通じて、土砂災害情報相互通報システムを導入しています。

土砂災害情報等メール配信サービスでは、土砂災害情報や気象情報（警報）、地震・津波情報、役場からのお知らせ等の情報をメールでお届けします。

（※役場からのお知らせは、防災情報のみです）  
下記メールアドレスを直接入力し、空メールを送信する、または、携帯電話のカメラ機能を使用して1のQRコードを読み取り、登録してください。  
アドレス：entry\_dosha@dosha.town.kiho.lg.jp  
▶詳しくは、役場総務課防災対策係（☎33-0335）までお問い合わせください。

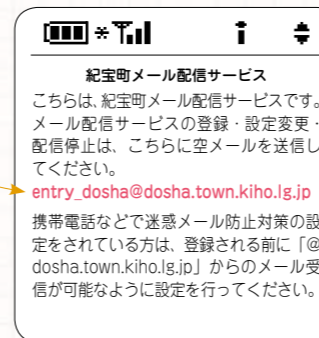
1



## 登録の手順

- 1 携帯電話のカメラ機能を使用し、QRコードを読み込みます。
- 2 空メール送信画面が表示されるので、空メールを送信します。
- 3 配信登録案内メールが返信されてきます。
- 4 配信されたURLにアクセスすると配信登録画面が表示されるので、ご利用上の注意を確認し、「同意して登録」を押します。
- 5 各種情報設定画面より配信を希望する情報を入力します。
- 6 設定が完了したら、「設定完了」ボタンを押します。
- 7 登録内容が確認メールとして配信されてきて、登録終了です。

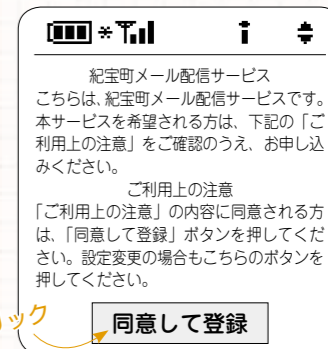
2



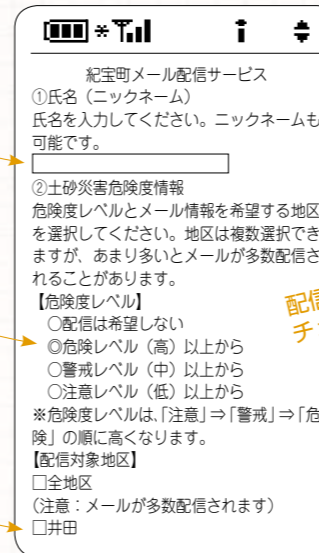
3



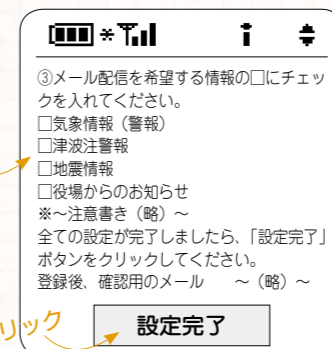
4



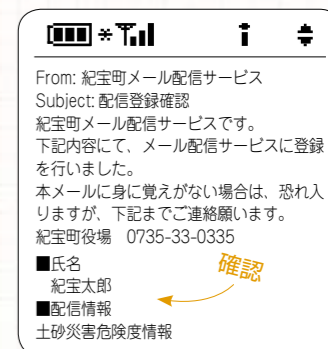
5



6



7





シリーズ 浄化槽 ~きれいな川を 未来に残そう~ その104

Purified



Purifying

## 法定検査は 浄化槽の健康診断

浄化槽を設置しても、きれいな処理水を保つためには、保守点検・清掃(くみ取り)・法定検査といった維持管理が欠かせません。なかでも、毎年1回、定期的に受けていただいている法定検査(11条検査)は、浄化槽がきちんと維持管理され、正常に機能しているかを調べるいわば浄化槽の健康診断のような大切な検査です。

### 定期検査(11条)を受けましょう

法定検査には、「設置後の水質検査(7条検査)」と「年一回の定期検査(11条検査)」があります。

法定検査は、保守点検とは目的や作業内容が異なり、浄化槽管理者(個人設置型の場合)は個人、市町村設置型による町営浄化槽整備推進事業の場合は、管理者は町となります。が保守点検業者と委託契約をしても、指定検査機関による法定検査は必要です。

「定期検査(11条検査)」は、管理者の責任として定められている保守点検や清掃がきちんと実施されているか、浄化槽の機能が正常に発揮されているかどうかを調べるもので、指定検査機関の定期検査を毎年1回受けることが、浄化槽法でも義務付けられています。

### 鶺鴒地区は4月～5月に 法定検査を実施します

法定検査は、三重県知事の指定を受けた検査機関である一般財団法人三重県水

質検査センターが、BOD検査などの水質検査を実施しています。

町内の鶺鴒地区の法定検査は、4月～5月に実施する予定です。

法定検査の実施時期が近づくと、法定検査の案内が届きますので、案内文書が届いたら、必ず検査を受検しましょう。なお、紀玉町営浄化槽整備



## こんなとき、どうしたらいいの? 浄化槽 Q&A

- Q: 町管理も法定検査は4月～5月なの?**  
**A:** 町管理の浄化槽は、設置月などによって年間スケジュールを設定していますので、鶺鴒地区であっても4月～5月とは限りません。
- Q: 町管理の場合の法定検査の案内通知は?**  
**A:** 町管理の浄化槽の場合、個人管理と違って、ハガキで「〇月〇日に実施します」と通知があるだけです。当日、不在でも管理ファイルなどを玄関付近に置く必要もないので便利です。

推進事業で設置された浄化槽および同事業で寄付採納扱いとなっている浄化槽については、設置月や寄付採納月によって検査月が異なりますので、鶺鴒地区であっても、4月～5月に実施されるとは限りません。

▼詳しくは、役場環境衛生課 (☎33-0338) までお問い合わせください。

## 家庭でできる温暖化対策

シリーズ ストップ地球温暖化 その⑧

Eco

### 今月のテーマ ゴーヤの苗

グリーンカーテンを作ろう!



### ゴーヤの苗の予約方法

- 【受付方法】** 窓口、電話などで、氏名、住所、電話番号、数量をご連絡ください ※1世帯6つまでです
- 【受付期間】** 4月1日(金)～28日(木)
- 【受付時間】** 午前8時30分～午後5時15分
- 【申し込み先】** 役場環境衛生課 (☎33-0338)

## 節 電意識を図り、地球温暖化およびヒートアイランドの防止に効果のあるグリーンカーテンの普及を目的に、「ゴーヤの苗」を配布します。

窓全体に張り巡らせたネットに、ゴーヤなどツル植物を絡ませて窓を覆う「グリーンカーテン」は窓からの日差しを遮り、室内温度の上昇を抑制することで、エアコンなどの使用を抑え、節電効果が期待できます。

### ワンポイントアドバイス

#### ◆ゴーヤの実で「石臼鳥

育てたゴーヤの実はもちろん食べることができるので、収穫してゴーヤチャンプルやおひたしに。

ゴーヤにはビタミンCや食物繊維など、栄養が豊富で夏バテ防止の効果もあります。▼詳しくは、役場環境衛生課 (☎33-0338) までお問い合わせください。

Branch

お住まいの近くで、役場業務が利用できます

## 移動支所をご利用ください

表① 4月の移動支所開設日程 ピンク色は、移動図書館も開設

開設日	会場	開設時間
月曜日	4日	桐原生活改善センター 9:00~10:15
	11日	平尾井高齢者生産活動センター 10:30~11:45
	18日	大里多目的集会施設 13:30~14:45
	25日	上野農事集会所 15:00~16:15
火曜日	5日	浅里生活改善センター 9:00~10:15
	12日	北松杖多目的集会施設 10:30~11:45
	19日	中村多目的集会施設 13:30~14:45
	26日	阪松原生活改善センター 9:00~10:15
水曜日	6日	永田青年クラブ 10:30~11:45
	13日	井田公民館 13:30~14:45
	20日	地下集会所 15:00~16:15
	27日	上地多目的集会施設 9:00~10:15
木曜日	7日	下地生活改善センター 10:30~11:45
	14日	茶屋地構造改善センター 13:30~14:45
	21日	下り場集落センター 15:00~16:15
	28日	高岡防災センター 9:00~10:15
金曜日	1日	鮎田構造改善センター 10:30~11:45
	8日	
15日		
22日		

### 町内17か所で開設しています

住民票の発行業務などを郵便局に委託するとともに、さらなる住民サービスの充実を図るため、町職員が町内17か所に出向いて、移動支所を開設しています。(表①移動支所開設日程をご覧ください) お住まいの近くで、役場業務が利用できますので、ぜひご利用ください。

### 移動支所の業務内容

住民票、印鑑証明、納税証明書などの申請受付事務(交付は後ほど、郵送か職員が直接お届けします)や、町税、国民健康保険税の収納事務、役場への各種届け出事務などを受け付けます。

▼詳しくは、役場税務住民課 (☎33-0337) までお問い合わせください。



# 子ども心の健康づくり



今月は岡本こすえ保健師

**新** 学期が始まる4月上旬や、9月1日をピークとした8月下旬から9月上旬など、学校の長期休み明け前後には心と体の疲れがたまりやすい時期です。

学生のみならず、次の内容で思いあたることがあれば、ひとりで悩まず、がんばらないで、あなたのまわりの信頼できる大人に伝えましょう。

◎ **こんな気持ちになったり、からだの調子が悪くなったり SOS を出そう！**

友達とつまみ食いしていない、家族がいつもケンカしている、新しい環境にうまくなじめない、いじめを受けていることなどが原因で、「だれもわかってくれない」「居場所がない」「このまま生きていても、いらいらすることなんてない」「生まれてこなければよかった」という気持ちになったことはありますか。

そんなとき、だれにも相談できずひとりで悩んでいると、心の病気になることがあります。

悩みを抱え続けて、イライラがずっと消えない、眠れない、やる気がずっと出ない、お腹が痛い、どきどきする、食欲が出ないときは、あなたの心が SOS を出しているのかもしれない。

そんなときは、ひとりでがんばらないで、だれかに話してみてください。

◎ **いろんなことで悩んだり、心が疲れてしまったときは**

- 1 **まずは、ゆっくり体を休めよう。** 次に、好きなことで気分をリフレッシュ
- 2 **自分の気持ちを素直に書いてみよう**
- 3 **ゆっくりと深呼吸をしてみよう**
- 4 **からだの力をうまく抜く**
- 5 **信頼できるひとりに相談する**

まず、ゆっくりと体を休めることを優先しましょう。余裕がでてきたら、好きな本を読んだり、映画や音楽、お菓子作り、スポーツなどで気分転換しましょう。

◎ **いろんなこと話していいかな**、とためらわないで話してみよう。

▼ **心が疲れたと感じたら**、迷わず町保健センター（☎32-37700）までご連絡ください。



Health



Cooking

楽しく、おいしい簡単料理♪ その104



管理栄養士 寺澤博子

今月のお料理

春キャベツを使って♪

## 和風ロールキャベツ



One Point Advice

春キャベツは破れやすいのでやさしく包みましょう♪

エネルギー（1人あたり）：約136kcal  
塩分：約1.3g

**春** キャベツは葉が柔らかいのが特徴ですが、今回は煮込んでさらに柔らかくした和風ロールキャベツをご紹介します。

薄味でもおいしく作るポイントには、だし汁をかつお節や昆布からとることで、せん切りしたしょうがを加えて一緒に煮るのもおすすめです。

また、キャベツは食物繊維のほか、実はビタミンCやビタミンKなどの栄養素が豊富に含まれています。

### 【材料（2人分）】

- キャベツ 4枚
- 鶏ひき肉 100g
- 玉ねぎ 1/2個
- しょうが 少々
- 塩こしょう 少々
- だし汁 約300ml
- しょうゆ、酒 各大さじ1弱
- 水溶き片栗粉 大さじ1～2

### 【作り方】

- 1 キャベツは芯をとり除き、1枚ずつはがし、よく洗ってゆで、冷ましておく。（電子レンジで加熱してもよい）
- 2 玉ねぎはみじん切りにする。
- 3 ひき肉に玉ねぎ、すりおろししょうが、塩こしょうをふり、混ぜる。
- 4 キャベツに③のをせて包む。（つまようじでとめる）
- 5 鍋にAを入れて火にかける。沸騰したら④を並べて落としふたまたはふたをする。煮立ったら火を弱めて約20分煮込む。鶏肉に火が通ったら、水溶き片栗粉でとろみをつける。

### Calendar

Health April Calendar

## 4月の健康カレンダー

### 介護予防事業（対象：65歳以上の方）

日	会場と開催時間
7・21日	鶴殿地域交流センター（午前10時～11時）
20日	成川生活改善センター（午前10時～11時）
14・28日	上地多目的集会施設（午前10時～11時）

### 健康長寿ヨガ

1・8・15日	鶴殿地域交流センター（午前10時45分～11時45分）
29日	鶴殿福祉センター（午前10時45分～11時45分）

### 貯筋運動（腹筋と下肢筋力をつけるための運動）

11・25日	大里多目的集会施設（午前9時30分～11時）
--------	------------------------

### 認知症予防ウォーキング

7・14・17・21・28日	鶴殿地域交流センター（午後1時30分～15時）
----------------	-------------------------

※要申込：詳しくは、町地域包括支援センター（☎33-0175）まで。

### 子どもとお母さん（会場 紀宝町保健センター）

日	内容と開催時間
26日	すくすく育児相談（午前9時30分～11時30分）
12日	7・8か月離乳食教室（午前10時～11時30分）

※要予約：詳しくは、保健センター（☎32-3700）まで。

### 4月の休日救急当直医

日	病 院 名	内科・外科
7日	橋本クリニック	☎(29)7329 内 科
10日	山口整形外科	☎(31)8052 外 科
17日	井畑 医 院	☎(31)7029 内 科
24日	玉置整形外科	☎(22)6172 外 科
29日	湊 口 医 院	☎(31)6660 内 科
日・祝	紀南医師会 応急診療所	☎0597(88)1001 内 科

※変更する場合がありますので、確認のうえ受診してください。  
※診療科目が異なる場合は、三重県救急医療情報センターコールセンター（☎0597-89-1199）にご相談ください。

### Dentistry

竹田歯科衛生士の歯の健康ひとロメモ その122

今月のテーマ

## フッ素だけではむし歯は防げません



竹田仁香歯科衛生士

**フ**ッ素にはむし歯の原因菌の働きを弱め、歯から溶け出したカルシウムやリンの再石灰化を促進し、歯の表面を強化してむし歯になりにくくする働きがあります。

町では、特にむし歯になりやすい「生えだての乳歯」や「生えだての永久歯」を持つ子どもたちにむけて、1歳から3歳児の歯科健診まで、希望者にフッ化物歯面塗布を実施しているほか、町内の保育所、幼稚園で4、5歳児クラス希望者にフッ化物洗口を実施しています。

また、フッ化物は多くの歯みがき剤にも含まれていますが、フッ化物を口の中に長く留めておくためには、少ない水で1回だけすすぐことと、寝る前の歯みがきをフッ素配合の歯みがき剤で行うことが効果的です。

ただし、フッ化物だけではむし歯を完全に予防することはできません。

ジュースなどの酸性の強い飲み物を控え、あごの発育のためによく噛むことを取り入れた食事や栄養のバランスがとれた適切な分量の食事を心がけましょう。

お話作りから色塗りまですべてオリジナル

## 手づくりの紙芝居を披露

うどの幼稚園は2月22日、保育参観を実施し、5歳児クラスの園児19人が手作りの紙芝居を披露しました。

この紙芝居は、お互いのよさを認め合いながら友達と考えや思いを出し合い、目的に向かって活動を進めていく楽しさや作り上げた達成感を味わうことをねらいに行われ、園児たちは4つのチームに分かれ、紙芝居のお話やせりふを考えるところから、絵をかき色を塗るところまで、すべて自分たちで作りました。

園児たちは、「おばけのいたずら」、「パスターズカップ」などと名づけた、おばけや昆虫、アニメのキャラクターが登場するユニークな物語を元気な声で発表していました。



手作りの紙芝居を披露する園児たち

Town topics  
2/22



感謝状を授与された館校長先生（右から2番目）

Town topics  
3/2

協力して育てた花を事業所などに寄贈

## 相野谷中学校に感謝状が贈られる

「人権の花」運動に取り組んだ相野谷中学校に対して3月2日、津地方法務局熊野支局から感謝状が贈られました。

人権の花運動とは、生徒たちが協力して花を育てることをとおして命の尊さや協力、感謝することの大切さを学び、やさしさと思いやりの心を育てることを目的としたもので、相野谷中学校では初めての取り組みとなります。

生徒たちが育てた花はメッセージを添えて事業所や介護施設などへ贈りました。

受賞にあたり相野谷中学校の館校長先生は「生徒の心の成長だけでなく、地域とのつながりも強くなったと感じました」と話していました。



02



01



08



06



05



03



07



04



14



13



12



11



10



09

長年にわたる活動の功績が認められ

## 竹内さんに消防庁長官表彰

町消防団第3分団長の竹内浩二さんが、平成27年度消防庁長官表彰の永年勤続功労章を受章し、3月10日、役場で伝達式が行われました。

竹内さんは昭和62年10月の入団以来28年以上の長きにわたり職務に精励され、施設点検や団員の教育指導など、その勤務成績が優秀であり、他の模範であることが評価され受章となりました。竹内さんは受章に際し、「これまで続けてこれたのも、団員など周りのみなさんのご協力のおかげです」と感謝していました。



表彰された竹内さん

Town topics  
3/10

紀宝芸能発表会パート2を開催

## 15 団体が見事な芸能を披露する

紀宝町文化協会は3月6日、まなびの郷で芸能発表会パート2を開催し、日本舞踊や詩吟など15団体が日ごろの練習の成果を発表しました。

大正琴「風雅」がオープニング演奏として「大阪ラブソディー」と「恋の季節」を披露し、その後、鶺鴒ばやし保存会子ども会のほか、詩吟や詩舞、社交ダンス、日本舞踊など、各団体ともに見事なステージを披露しました。

訪れた人たちは、各種団体の発表に大きな拍手を送っていました。

Town topics  
3/6



5

01. 講寿会レクダンスサークル。02. 鶺鴒ばやし保存会子ども会。03. ももの会。04. 民謡くろしお会。05. 紀宝太極拳。06. 鶺鴒吟剣詩舞道会。07. 友茂会。08. 三首会。09. 亀甲会。10. 紀宝日舞の会。11. 紫海流。12. 若葉会。13. 大正琴風雅。14. 興川流詩吟興道館。15. 鶺鴒レクダンス。



Town topics  
2 / 21

01. 三重県庁前をスタートした第一走者の選手たち。02. 紀宝町を代表する駅伝選手たち。03. 友好レース(800mタイムレース)で8位入賞を果たした高須大悟選手

第9回美し国三重市町対抗駅伝

## 友好レースで高須選手が8位入賞!!

早春の伊勢路を県内29市町の代表選手が駆け抜ける「第9回美し国三重市町対抗駅伝」が2月21日、津市の県庁前から伊勢市の県営総合競技場を結ぶ10区間、41.695kmのコースで行なわれました。

紀宝町チームは、2時間45分59秒で総合29位(町の部15位)という結果に終わりましたが、全選手がタスキをつなごうと力強く駆け抜け、最後まで諦めない姿は見る人に感動を与えました。

また、併催された友好レース(800mタイムレース)では、高須大悟選手(神内小6年)が小学生男子の部で紀宝町チーム初の8位入賞に輝きました。



## 第10回つれもてまつりを開催 絆を深め、福祉の輪を広げる!

第10回社協つれもてまつりが2月28日、福祉センターで「ふだんのくらしをしあわせに しあわせ運ぶつれもてまつり」をテーマに行われ、町内外から約1,000人が来場し、にぎわいを見せました。

このイベントは、地域の絆を深め、福祉の輪を広げることを目的に、毎年開催されており、食べ物の容器やはしなどの持参を呼びかけたエコイベントを提唱しています。

矢淵中学校吹奏楽部の演奏で開演し、来場者たちは、「まんぷくエリア」、「あそび・まなびエリア」、「ふれあいエリア」に分かれた会場内で、フリーマーケットやゲーム、防災啓発など、さまざまなブースを楽しみました。

また、午後からは、施設内で地域福祉活動の計画発表や「鈴鹿野郎舞一座」の大道芸などが行われ、大いに盛り上がりしました。

Town topics  
2 / 28

01. オープニングを飾った矢淵中学校吹奏楽部。02. イベントには多くの来場者が。03. 鈴鹿野郎舞一座の加藤みきおさん。04・05. フリーマーケットや食事のコーナーも賑わいました。



## 慣れ親しんだ学び舎を後にする 町内の中学校で111人が卒業

町内の中学校では3月8日、卒業式が行われ、矢淵101人、相野谷中学校10人の計111人が卒業の祝福を受けました。

訪れた相野谷中学校の卒業式では、在校生や保護者、先生が拍手で迎えるなか、10人の卒業生が入場。校歌を斉唱したあと、校長先生から、卒業生一人ひとりに卒業証書が手渡されました。館校長先生は「夢や志を持った人は強い。大きな壁にも逃げ出さず、目標のために努力し達成に近づいていくことが大切」と言葉を送り、在校生の送辞、卒業生の答辞などが続き、最後は全校生徒で「ひまわりの約束」を合唱しました。

卒業式の後、アサガオの種が入った風船を空に飛ばし、卒業生たちは思い出の校舎を後にしました。

Town topics  
3 / 8

01. 全校生徒で「ひまわりの約束」を合唱。  
02. 記念品を受け取る亀本羅奈さん。



## 2016 七里御浜防風林GG作戦 ~山の日(8月11日) 制定記念事業~ 七里御浜海岸を守るため、クロマツを植樹!!

七里御浜松林を守る協議会は3月5日、「2016 七里御浜防風林 GG(グリーン・グロー)作戦 ~山の日(8月11日) 制定記念事業~」を紀宝町から熊野市までの七里御浜海岸沿いで展開しました。

同協議会では、松食い虫被害や塩害などで松枯れが進み、防風機能が低下しつつある状況にある七里御浜国有林を守ろうと、毎年植樹活動を続けています。今年も、熊野管内の3か所(熊野市・御浜町・紀宝町)の七里御浜で行われ、紀宝町ではウミガメ公園北側の国有林に、クロマツ50本が参加した約50人の手によって丁寧に1本ずつ植樹されました。

Town topics  
3 / 5

01. GG作戦に参加したみなさん。02. クロマツを1本ずつ丁寧に植樹する子どもたち。



うえ あゆむ  
植歩くん(井田)

平成25年4月9日生まれ  
樹さん&霞さんの次男



まつした よしき  
松下佳樹くん(鶴殿)

平成25年4月2日生まれ  
司さん&真紀さんの長男



た お ま の ん  
田尾 菜暖ちゃん(井田)

平成25年4月21日生まれ  
忠さん & 彩さんの長女



やぶがみ ゆうすけ  
数上 裕介くん(井田)

平成25年4月15日生まれ  
洋平さん&友香さんの次男

やんちゃで食いしん坊な歩♥  
2つ上の兄と双子に間違われ  
るほどすくすく育てられて弟  
の面倒も見てくれるしっかり  
者!! これからも元気いっぱい  
大きくなあれ…お母さんから

いつも元気でおしゃべりな  
よしきです。保育所が大  
好きでお姉ちゃんたちと元  
気に通っています。これか  
ら笑顔のかわいいよしき  
でいてね♥…お母さんから

毎日いろんな話をしてくれ  
る菜暖。とてもしっかり者で、  
なんでも自分でするところ、  
お手伝いしてくれるところ  
がすてきです。元気に育っ  
てね♥…お母さんから

ダンスが大好きな裕介で  
す!最近ではジュウオウジャー  
の曲をノリノリで踊ってみせ  
てくれます♪元気で笑顔  
いっぱい大きくなあれ♥  
…お母さんから

【募集】満3歳の誕生日を迎える子ども(平成25年6・7月生まれ)を募集します。ご希望の方は、広報係(☎33-0334)までご連絡ください。申込期限は4月28日(金)まで。

## 自然に恵まれた暮らし

浦地 三恵子 さん(北檜杖)



主人の実家である紀宝町北檜杖に家を建て、長女の小学校入学にあわせて引っ越ししてきました。丸18年が経ちました。

場所にあります。その分、野生動物が出没することも珍しくなく、猿がヤマモモの実を食べに家のすぐ裏に現れたり、鹿に車の横を並走されたりと驚きの連続で、すごいところに住むことになったな、と不安もありましたが、春にはう

### PROFILE

うらじ みえこ さん

豊かな自然のなかで生活されている浦地さん。「自然に囲まれたのんびりとした暮らしは、私の性格に合っています♪」と話していました。



自家製のお茶

ぐいすの鳴き声で目覚める心地よさ、桜、紅葉など四季折々の風景には、とても癒される日々を送っています。

最近、田舎に移住して農業をする芸能人も増えているとテレビなどでも紹介されていますが、私はいまだにプランター菜園で手軽な野菜しか作れません。

そんな中、引っ越し当時から家の裏にお茶の木が多く植えられていたため、自家製のお茶作りをするようになりました。

これからの時期に出てくる新芽を摘み取ってできる新茶はとてもいい香りで心が和みます。

ここに引っ越ししてからは、できあがった茶葉をいただくだけで、飲む状態にするまでの工程が、どれだけ手間がかかり大変かということを知りませんでした。ここで生まれ育った好奇心旺盛

盛な長男は、私たちの茶葉作りの作業をみて、2歳のころには自分から小さな手に軍手をして、煎った茶葉をござの上でもむ作業を、父親の横で真似するようになりました。うちの子もたちは、小さいうちからとても貴重な体験をすることができたのかなと思います。

田舎暮らしは不便な面も多いのは確かですが、雄大な自然に恵まれた暮らしは、お金を使わずにたくはなく、時間をせいたくに使えていることに気づかせてくれました。

5月号は成川の上野美穂子さんです。浦地さんからは、「5人のお子さんをお持ちの上野さん。これからも、よろしくお願います♪」

## ウミガメマスターを目指して!

田中 颯 さん(井田・22歳)

◆お仕事は?  
道の駅紀宝町ウミガメ公園で昨年の4月から働いています。ウミガメや他の生き物の飼育が主な仕事です。

◆趣味は?  
釣り、磯に行き潮だまりにいる生き物などを採集して、家やウミガメ公園で飼育することです。

◆理想のタイプは?  
明るくて元気な子。あと、リアクションがいい人がタイプですね。

◆熱中していることは?  
生き物の飼育です。海の生き物のほか、ヤモリの仲間のヒョウモ

ントカゲモドキを飼っています。爬虫類の中ではポピュラーで、まぶたがあり、ぱちぱちと瞬きをするのが特徴です。大人しくて、かわいいですよ。

◆将来の夢は  
ウミガメ以外の生き物について、もっと詳しくなることと、ウミガメに芸を覚えさせることです(笑)

◆町民のひまわり  
ウミガメ公園では、海の生き物やウミガメに触ったり、えさやり体験もあります。少しずつリニューアルしているので、遊びにきてくださいー!





# 4月号

町の人口 - population -	
平成28年2月末現在 (前月比)	
人口	11,501 (-28)
男	5,418 (-3)
女	6,083 (-25)
世帯	5,352 (-7)
	(外国人を含む)

主な電話番号 - telephone -	
役場総務課	(33) 0333
役場企画調整課	(33) 0334
役場総務課(防災対策)	(33) 0335
役場産業建設課	(33) 0336
役場税務住民課	(33) 0337
役場環境衛生課	(33) 0338
役場福祉課	(33) 0339
役場出納室	(33) 0340
教育委員会	(33) 0341
議会事務局	(33) 0342
役場環境衛生課(水道)	(33) 0343
地域包括支援センター	(33) 0175
保健センター	(32) 3700
相野谷診療所	(34) 0011
鶴殿図書館	(32) 4646
まなびの郷	(32) 0241
神内福祉センター	(32) 2023
鶴殿福祉センター	(32) 0957
子育て支援センター	(32) 4388
熊野自殺防止センター	05979-2-2277
	【毎週金・土曜日 午後7時から11時まで】
防災行政無線(フリーダイヤル)	0120-334-119

おかけ間違いのないように!



今月のヒョウモントカゲモドキ

モカ

## スポーツ安全保険について

スポーツ安全保険は、スポーツ安全協会が契約者となり、加入手続きを行った4名以上の社会教育関係団体の構成員を被保険者として、保険会社との間に、傷害保険、賠償責任保険、突然死葬祭費用保険を一括契約した補償制度です。

### 【加入対象】

スポーツ活動、文化活動、ボランティア活動、地域活動を行う社会教育団体

### 【保険期間】

4月1日～翌年3月31日(年度途中での加入可)

### 【加入依頼書設置場所】

町教育委員会

はこれまでと変更ありませんが、限度額適用・標準負担減額認定証を病院に提示する必要があります。詳しくは、役場福祉課(☎33-0339)までお問い合わせください。

## まどぐち国民年金

### ◆加入手続きは年金手帳を忘れずに

日本に住んでいる20歳以上60歳未満のすべての方は、国民年金に加入することになっています。

加入者は、職業などによって3つのグループに分かれており、それぞれ加入手続きが異なります。

会社員や公務員など、厚生年金保険や共済組合に加入されている方や、厚生年金保険や共済組合に加入されている方に扶養されている配偶者の方は、勤務先で手続きを行っていただけますが、厚生年金保険や共済組合に加入されていない自営業者、学生、フリーター、無職の方などは、ご自身で住所地の市町村役場で加入

安全協会三重県支部(☎059-372-8100)までお問い合わせください。

## ご存知ですか? 就学援助費制度

就学援助費制度とは、経済的な理由により就学が困難と認められる児童・生徒について、学用品や学校給食費、修学旅行費などの全部または一部を援助する制度です。

小・中学校に在学中、または今春入学する児童・生徒のご家庭で、受給を希望される方は、町教育委員会まで申請してください。

▼認定基準や申請方法など詳しくは、町教育委員会学校教育係(役場内☎33-0341)までお問い合わせください。

手続きを行っていただく必要がありません。

国民年金の加入手続きは、基礎年金番号を記入する必要があります。窓口にお越しの際は、忘れずに年金手帳または基礎年金番号のわかるもの(納付書等)と印鑑をお持ちください。また、国民年金保険料の猶予・免除申請も同様に上記のものが必要となります。

▼詳しくは、役場税務住民課国民年金係(☎33-0337)までお問い合わせください。

## がん検診カレンダーを配布します

町では平成28年度のがん検診の日程を掲載した「紀宝町がん検診カレンダー」を今年度も発行しました。

今月号の広報さきほくに折り込んでいますので、ぜひご利用ください。

## 「ほたる夢太鼓」会員を募集!

「ほたる夢太鼓」は、誰からも好かれるホタルのような、やさしく明るくさわやかな子どもたちを育成することを目的に、平成12年5月に結成されました。

紀宝楽の指導のもと、いろいろな学校の子どもたちが太鼓を通して仲良くなり、楽しく練習に励んでいます。興味がある人は一緒に太鼓を叩いてみませんか。

練習日にはいつでも見学できます。保護者の方同伴で、お越しください。

▼【練習日】毎週金曜日、午後7時30分から9時まで  
▼【場所】田代体育館裏太鼓練習場

## 公平委員会委員の選任について

昨年12月15日に開催された平成27年第4回紀宝町議会定例会において、議案「公平委員会委員の選任について」が議決(同意)され、登立節雄さん(神内)が公平委員会委員に再任されました。

任期は、平成28年3月9日から平成32年3月9日までの4年間となります。

▼詳しくは、役場総務課(☎33-0333)までお問い合わせください。



登立節雄さん

## きぼうまちかどエクスサイズ

認知症予防に効果がある音楽体操を、ヤマハ音楽振興会専任トレーナーの指導で行います。ぜひご参加ください。

▼【対象】65歳以上の方(介護保険の認定を受けていない方)  
▼【受講料】月額600円(運動開始月に、今年度分の年会費

▼【募集対象】小学校2年生(中学校3年生)  
▼詳しくは、仮家さん(☎90-8959-1370)までお問い合わせください。

## 熊野水軍子供太鼓 新期生募集

熊野水軍子供太鼓は、新期生を募集します。みんな楽しく太鼓を演奏してみませんか。まずは、見学からでもいいので、お気軽にお声掛けください。

▼【募集対象】町内の小学3～6年生  
▼【練習日】毎週金曜日 午後7時から9時まで  
▼詳しくは、役場企画調整課(☎33-0334)までお問い合わせください。

## 【日時・会場】

- ①4月6・13・27日、午前9時15分～10時15分、保健センター
  - ②4月6・13・27日、午前10時30分～11時30分、保健センター
  - ③4月1・8・15日、午前10時20分～11時20分、まなびの郷
- ▼詳しくは、町地域包括支援センター(☎33-0175)までお問い合わせください。

## 毎月第3木曜日「無料法律相談」開催

▼【日時】4月21日(木) 午後1時30分から3時30分までの間で、1人30分以内  
▼【会場】役場1階相談室IV  
▼【予約方法】4月13日(水)までに、役場総務課まで電話予約  
▼詳しくは、役場総務課(☎33-0333)までお問い合わせください。

## 今月(4月)の「紀の宝みなと市」

▼【日時】4月16日(日) 午前9時～12時  
▼【場所】鶴殿港  
▼詳しくは、役場企画調整課(☎33-0334)までお問い合わせください。

## 4月から入院時の食事代が変わります

国民健康保険、後期高齢者医療制度に加入されている方で、入院したときに食事代として自己負担する入院時食事療養費が4月から次のとおり変更となります。

▼【変更額】1食あたり 260円 ↓360円

### 【対象者】

国民健康保険の加入者で所得区分が、一般(住民税非課税世帯、低所得者以外)の方、または、後期高齢者医療制度の加入者で所得区分が現役並みおよび一般の所得者の方  
※住民税非課税世帯、低所得世帯の入院時食事療養費

**紀宝町下水道サービス株式会社**

浄化槽のご相談は  
フリーダイヤル  
**0120-620-690**

紀宝町鶴殿1375番地1  
TEL: 0735-33-0360 (代)  
FAX: 0735-33-0365  
HP: http://www.pfi-kiho.jp/

ウミガメ公園は町内でかんはる皆様を応援しています!

紀の宝みなと市  
**三朝市開催**  
4/24(日)  
午前10時から午後1時

**ウミガメ公園** ☎0735-33-0300  
紀宝町井田568番地7 営業時間: AM8:30～PM7:00

有料広告



紀宝の  
珍百景  
その42



登山新ルートを整備

鮎田富士(尾子山)からの景色



頂上からの展望



今回の珍百景は、鮎田富士(尾子山)の頂上からの景色をご紹介します。

この山は標高が302・9メートルで、頂上からは太平洋や熊野川河口の鶴殿や新宮のまちなみ、相野谷川が一望でき、まさに絶景です。

この絶景を楽しむことができるのは、紀宝町健康文化のまち推進会議町民部会山歩き部会の方々が、みえ森と縁の県民税助成事業により、登山道新ルートの開拓や案内板や山頂にベンチを設置するなどの整備をされたことによるものです。

山歩き部会の金田洋三さんは、「健康づくりを兼ねて、山頂の絶景を楽しんでください」と話されています。

鮎田登山口、御船登山口それぞれから1時間ほどで山頂までたどり着けます。

パパになりました!

パパになりました!

1月号でも紹介させていただきましたが、2月27日、ついに待望のベビーが誕生し、パパになりました。身長49センチ、体重3076グラム、ぱっちりとした目がチャームポイントのかわいい女の子です。

名前は、采美(ことみ)と名付けました。職場の方からは「愛野愛」や「愛野結晶」、「愛野記憶」など冗談半分にネタにされてきましたが、数か月前から嫁と一緒にいろいろ考え、いくつか候補を出した中で、響きがよかったのと、「采」という漢字は、「えらびとる」や「彩り」の意味があるというので、春をイメージして、この名前に決めました。

子どもが誕生してから約3週間。イクメン目指すと言ったものの、抱っこがきこちなかったり、オムツの交換も下手だったり、まだまだ不甲斐ないパパです。

育児をテキパキとこなす嫁を見ると、「母親は子どもがお腹の中にいるときから母親になるが、父親は生まれてから父親になる」という言葉を実感しています。

今は何より子どもが元気にすくすくと成長してくれることを願い、ふれあう時間を大事にしていければいいと思います。

(産まれた瞬間から親バカ 愛野裕基)



我が家のエンジェル「ことみ」



広報担当 田中

